広報こうた

No.73　昭和39年5月15日

発行　額田郡幸田町
編集　幸田町企画室
印刷　合資会社 ヨシノ印刷所

水で散すな幼い命

人口動態（39.5.1現在）

総内世	人口		17,531人
	男		7,978人
	女		9,553人
	帯数		3,184戸
4月中の異動			
出生	26人	男	16人
		女	10人
死亡	12人	男	7人
		女	5人
転入	328人	男	55人
		女	273人
転出	107人	男	38人
		女	69人

町営プール新設工事に着手
竣工は七月二十一日の予定

合併十周年記念事業としてプールをつくる計画のあることはさきに本紙で紹介しましたが、このほど計画が決って去る六日に工事の入札をした結果九四〇万円で一色町に本社をもつ日発工業株式会社に落札、直ちに鋭意工事にとりかゝりました。決定された計画のあらましは左の図のとおりであります。

①競泳プールは二十五メートル七コース、一コースの巾は二メートル、水深は一メートルから一番深いところで一・二メートル、小学校五年生以上として設計してある。

②小プールは十メートル四角で隅角が丸くなった形の年少者用の遊泳プールで全部タイル張りになります

③眼を洗うところ

④腰まで浸って消毒する

⑤シャワーで体を洗い足を洗う

⑥脱衣室で男は入って右、女は左の脱衣室へ

⑦休憩所

⑧管理人室で管理人が常時泊り込むことになっております。

⑨正門

⑩非常口で消防道路になるところ

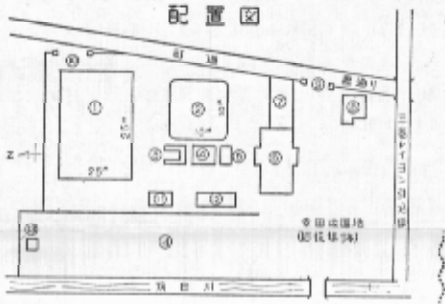
⑪浄化設備の機械室

⑫養魚池

⑬予備の井戸ポンプ小屋

⑭休憩する松林。

配置図



児童福祉大会

はげしい社会震動と家庭機能の縮少とによって、児童憲章で定められた児童の権利が今日ややもすれば侵されつつある、この際、児童がいづこにあっても人として尊ばれ、よい環境の中で育てられるように、みんなで努力しなければならない。

このためには、家庭がその育成の基盤であることを確認して児童が家庭で正しい知識と愛情と技術によって育てられ、家庭に恵まれない児童には、これにかわる環境が与えがれるようにする。

愛知県および幸田町にても心身共に健全に育成された優良児童および幼児を左記のとおり顕彰されました。

愛知県児童福祉大会にて顕彰された児童名

中村　信晋　左右田晨夫
大曽根裕子　三浦　寿子
越山多美子　小野　行雄

幸田町顕彰児童名

山口　隆彦　鈴木利江子
池田　宣夫　谷川　育代
新保　悟　内田由紀子
野沢　修治　野沢　之子
内藤　順一　中根　瑞枝
伊与田　功　児玉るみ子
三浦いと江　星野二三子
千賀　康弘　鈴木　辰己
永井しげ子　大賀須信幸
和田　克明　山本美江子
池田　幹生　松山まり子
大竹　博実　夏目さだ子
花岡　民夫　長谷　友子
高橋　英一　伊藤栄依子
杉浦　秋次　手嶋　啓子
太田　正文　岩瀬　春江
山下　方　原　治恵子
小林　敏裕　坪内柚美子
石川　力
川口てる代

乳幼児に於ては、四月十五日一円に選定検診を実施し一二〇名の対象者の中より保健所医師のもとに、審査基準に従って公平な審査をし、村雲克貞君外三十名の乳幼児を表彰、又生まれながら小さく（未熟児）育てにくい乳児を父母の努力により立派に育てあげた三氏のお母さん達も表彰した。

児童福祉大会風景

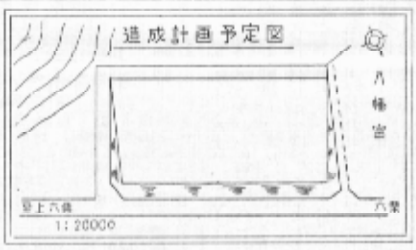
審査基準とは、現在の乳幼児は殆んどの児が表彰以上あるため、たゞ大きいのみでなく、運動機能の発達、疾病の有無、母親の育児に対する理解等により定められる。

家の子は大きいのにどうして表彰してくれないだろうと不しんに思うお母さん達も、いらっしゃる事と思います。

反響がやわらかく遠風、肥満、予防接種のすんでいないもの、離乳のおくれ、十二ケ月になっても歩けない疾病の有無等により採点定められた。

六栗住宅団地造成はじまる

豊川促進事業団の移転就職者用宿舎（第一種）建設の起工式が五月十三日幸田町大字六栗地内宿舎建設予定地でおごそかに行なわれ、第一期工事として住宅団地建設用地造成工事が五月十三日からはじまり、宿舎の建設も近づいたため五月末日までに突貫で責任と多大な機械能力をもつ業者、兵藤組が用地造成にかかりました。



カラーフォート
観光写真募集

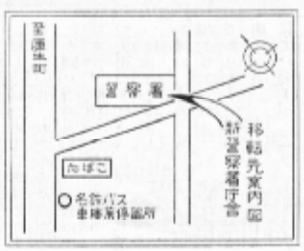
大池土地改良区では、大池観光開発の一貫として、住民の皆さま方から、「大池」を紹介、宣伝する観光写真を募集いたしますからふるって傑作な写真を送付ください。

◁課題、大池を含、周辺の観光開発、宣伝写真。
◁応募方法、カラー写真、手札版、フイルムはどこの会社の物でもけっこうです。
◁資格制限、一人10枚以内
◁期限、送り先、昭和39年5月20日～6月末日までに幸田町役場建設課産業係まで。
◁賞品、　推選一篇　金一封　　特選3篇　金一封
入選7篇　賞品
△その他、応募写真は返却いたしません。

庁舎移転のお知らせ

愛知県岡崎警察署は、かねてから建築中の新庁舎に5月10日に移転いたし、すでに事務を取っていますから、お知らせいたします。

△移転先の住所
岡崎市明大寺町字銭提4－1



人事異動

四月三十日付
退職　岩瀬喜久雄

五月当直医日割表

十七日……神谷医院
二十四日……浅井医院
三十一日……鈴木更生医院

六月当直医日割表

七日……上田医院
十四日……神谷医院
二十一日……浅井医院
二十八日……鈴木更生医院

心配ごと相談日

五月十三日
五月二十七日
六月十日

所得の届をお忘れなく

福祉年金を受けている人は郵便局で五月期の支払を受けたら直ちに役場受付係へ所得状況届を出してください。

福祉年金を受けている人は、この届を出さないと、本年五月からの年金は支払いを受けることができません。

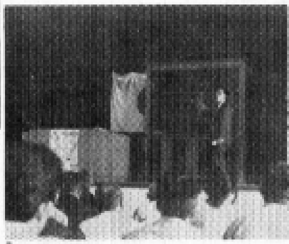
この届の用紙は役場に用意してあります。この届を出されるときは「国民年金証書」と印鑑を参持してください。

ルールを守り 交通事故をなくそう!!

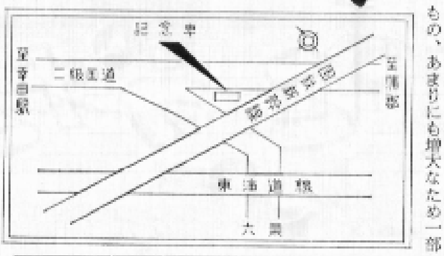
交通事故の激増にかんがみ、運転者に法を守っていただき事故を撲滅しょうと云る五月十一日、深溝小学校、十二日中央公民館、十三日幸田小学校で法令の講習会を開催いたしました。

主催は交通安全協会岡崎支部幸田分会で講師は岡崎警察署交通係の方で、どの会場も満員の盛況で話し上手なお巡りさんの説明にみんな熱心に耳を傾けておられました。

主催者側では、この講習会が役立ち今後幸田町の人が事故を起さないように祈ってやみません。

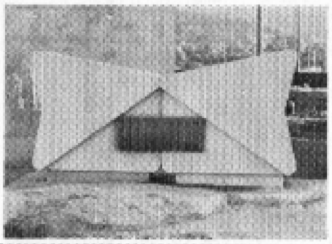


新幹線工事完成の記念碑たつ



日本国有鉄道では、数年前から旅客に貨物輸送に、スピードアップを計っていましたが、その量たるもの、あまりにも増大なため一部ではマヒ状態であった。これらを一挙に緩和しょうとしたのが、現在完成にちかづきつつある、新幹線であります。日本の土木技術の指粋をあつめて造られたかのように立派な姿をみせている。

本町におきましても東から西へ恐大なレールがのび色々な問題とともに工事はすすめられ、夢の超特急が姿を見せるのもそお遠くはありません、そして二度とないような鉄道工事完成を祭して、仲田橋東の入口に記念碑がたちました。



幸田町長杯軟式野球大会 組み合せ!!

来る五月十日、十七日の両日にわたって幸田町長杯争奪軟式野球選手権大会が開催されます。組み合せ、要項は次のとおりですので町民各様方の応援をお待ちしております。

一、趣旨　幸田町民が集まりスポーツの実践をとおし相互の友愛を深めるとともに町民の健全な育成を図るものとする。

二、主催　幸田町体育レクリェーション協会、幸田町公民館。

三、会場　三菱レイヨングランド　幸田中学校グランド

四、試合方法　トーナメント法

五、表彰

優勝　優勝杯、賞状、賞品授与

準優勝　準優勝籏、賞状、賞品授与

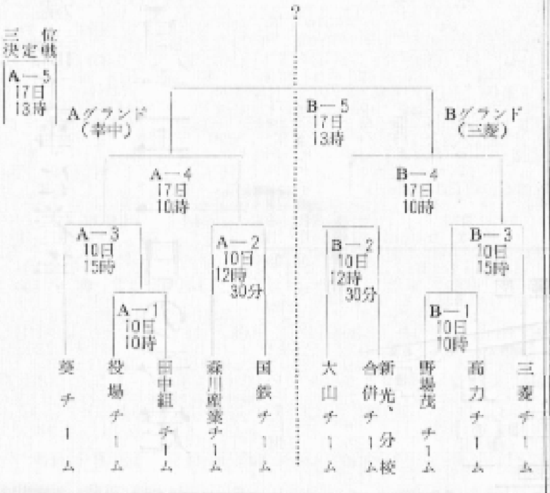
三位　賞状賞品授与

敢斗賞　賞状、賞品授与

最優秀選手賞（個人）　賞状賞品授与

ベストナイン（個人）　賞状授与

六、組み合せ、日程



商工だより

一、中小企業の人材の有効活用について

新卒は不足であるが中年以上は余ってくるという傾向がある。団地が出来れば家庭婦人で就職される人も出来る。要は新卒のみを頼らずに適する仕事に、適する人を、時間だけ適する方法で結びつけてゆく工夫が必要である。

所謂「アルバイト」「パートタイマー」を上手に制度化して恒久的に使用する体制を作れば案外成果が興る、やかましい意味での適材適所を云々するのではなく無理のないところで適当な人材というものを使用することが企業にとってもよいので人と仕事の結びつきを具体的に考慮しておいて人を選ぶ習慣をつけておくことは求人難とは無関係に必要なことである勿論適材は他から与へられたものではなく自分から作り上げるべきであるがやはり平常から心掛け求めてゆく心がまへと努力が必要である。

（指導課より）

二、商工会総会開催について

1日時　五月二十五日　午後二時

2場所　幸田町商工会々館

3議題　昭和38年度決算及事業報告並39年度事業計画

4備考　特別講演会がある予定

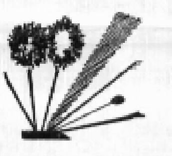
三、繊維工業会総会開催について

1日時　五月十六日午後三時

2場所　幸田町商工会々館

3議題　昭和38年度決算及事業報告並39年度事業計画

4その他　会員の出席の有無をお知らせ下さい。



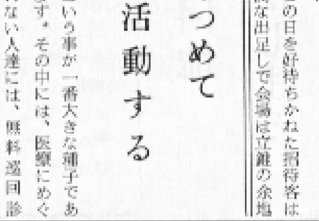
六月保健センター行事予定

日（曜）	時間	行事	備考
二日（火）	午前10.00～正午	成人病検診	妊娠届出書なく来診の方は印かんを持って来て下さい
二日（火）	午后1.30～3.00	妊婦検診	母子手帳持参
四日（木）	午后1.30～3.30	離乳食実施講習	
十六日（火）	午后1.30～4.00	乳幼児、妊婦、成人病健康相談	乳幼児＝身長・体重測定・母子手帳作成　母性＝血圧・検尿・母子手帳作成　成人病＝血圧・検尿
十七日（水）	午前9.30～11.00　午后1.00～3.00まで	乳幼児検診	荻谷・豊坂・深溝学区
十八日（木）	午前10.00～正午	三才児検診	昭和三十六年六月までに出生した幼児で一度も三才児検診をうけないもの
二十三日（火）	午后1.30～4.00	乳幼児、妊婦、成人病健康相談	乳幼児＝身長・体重測定・母子手帳作成　妊婦＝血圧・検尿・母子手帳作成　成人病＝血圧・検尿
三十日（火）	右同じ	右同じ	右同じ

「ギター仁義」でファンを魅了 盛会な北島三郎ショー!!

幸田町サービス会が創立一周年を記念しての、北島三郎ショーは、五月晴れの好天に恵まれた七日、幸田町中央公民館で開かれました。

この日を好待ちかねた招待客は好調な出足しで会場は立錐の余地もない程にふくれ上り、TVやラヂオでおなじみの一流芸能人による万才や腹話術、北島三郎始め新進歌手を混じえた歌謡ショーになると「サブチャン」と黄色い声や五色のテープが乱れ飛び会場は興奮の渦と化し、演歌できたえた心にくい小節に聞き惚れる観衆の熱い吐息が会場にあふれ、盛会のうちに終りました。



町民の声

「ありがとうといわれるように言うように」

これは町内の某氏が創作されて、私費を投じて県下各学校を通じて配布され、社会を明るくする運動を起された標語であります。この標語の心こそ道徳の基本であり、我々日常生活のバックボーンであると思います。この標語のような声が、家庭、学校、社会に充満するならば、どんなに社会が明るくなることかしれません。

また、最近非行少年の問題がやかましく言われていますが、去年警察に補導されたものが二百万人とか聞き背筋が寒くなる思いであります。明日の日本を背おって建つ人達の中に、「非行」と汚点をつけられている人がこんなにも多い事は、やはり家庭に社会に、道徳的環境が尊重されていないからであります。今一度彼等を責める前に反省してみたいものです。そして、大人から「ありがとうと言われるように」努力することこそ、明るい家庭、明るい社会を建設する基盤であると思います。

美しい心と力をあつめて 赤十字は活動する

昨年赤十字は一〇〇周年を迎え、世界の加盟国一〇二ケ国の代表がスイスのジュネーブに集り、数々の記念行事が行なわれました。

そして、赤十字連盟理事会において、日本赤十字社が提案した「核兵器の全面的実験禁止に関する決議案が決議された事と、一九六三年ノーベル平和賞が赤十字に授与された事は新聞、ラジオ、テレビでごしょうちの事と思います。

いったい赤十字とはどんな仕事をするのか、まず第一に奉仕をするという事が一番大きな建子であります。その中には、医療にめぐまれない人達には、無料巡回診療、身体障害者の人達に対しては、更生医療材談等を実施、また大きな仕事としては、災害等については直ちに救護班を現地に派遣し、負傷や病人の手当をすると共に、罹災者救援物資や見舞金をおくるなど活動をしています。

皆さんの身じかな交通事故などで負傷、外科手術などのとき輸血に必要な血をうるために赤十字血液銀行によって協力するなど国内に世界に活動しておりますが、一番重要なことは、国民の皆さん方がひごろの協力があってこそ、赤十字のマークのように、不滅の灯がともるのです。

日赤では、皆さん方の奉仕、物資の援助善意を心からお待ちしております。